



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月1日

上場会社名 ブラザー工業株式会社  
コード番号 6448 URL <http://www.brother.co.jp/>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 利和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長 (氏名) 藤井 宗高

TEL 052-824-2075

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日

平成24年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	244,525	△0.8	19,626	△24.6	20,040	△24.8	14,840	9.5
24年3月期第2四半期	246,562	0.2	26,015	20.8	26,666	15.9	13,555	△5.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 3,522百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △392百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	55.44	55.35
24年3月期第2四半期	50.65	50.58

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	359,662	232,395	64.5	866.66
24年3月期	370,906	231,425	62.3	863.01

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 232,012百万円 24年3月期 231,001百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
25年3月期	—	12.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	510,000	2.5	30,000	△12.2	30,000	△12.7	20,000	2.4	74.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 6「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	277,535,866 株	24年3月期	277,535,866 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	9,827,286 株	24年3月期	9,866,643 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	267,682,655 株	24年3月期2Q	267,650,419 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績見通しであり、当社としてはその実績を約束する趣旨のものではありません。実績の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確実要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

業績予想に関しては、【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	6
3. 四半期連結財務諸表 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	13
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	13
(6) セグメント情報 .....	13
(7) 重要な後発事象 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### 1. 当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日)の業績全般の概況

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、欧州中央銀行による金融政策の効果などにより、欧州債務問題は一定の落ち着きを見せつつあるものの、欧州における景気は緩やかに後退しております。また、新興国を含むその他地域における景気は、減速した状態が強まっております。急激な円高の進行は一服したものの、当社グループを取り巻く経営環境は、厳しさを増しております。

このような状況の中、当社グループの連結業績は、主に産業機器や通信カラオケ機器が堅調な需要に支えられ増収となったものの、市況の悪化に伴い工業用ミシンが大幅な減収となったことや、円高による為替のマイナス影響が大きく、売上高は前年同期比0.8%減の2,445億2千5百万円となりました。営業利益は、為替のマイナス影響などにより、前年同期比24.6%減の196億2千6百万円となりました。経常利益は、営業利益の減少に伴い、前年同期比24.8%減の200億4千万円となりました。当四半期純利益は、税効果会計の影響で法人税等が減少したことにより、前年同期比9.5%増の148億4千万円となりました。

\*当第2四半期連結累計期間における平均為替レート(連結)は次の通りです。

米ドル : 79.43円      ユーロ : 101.12円

\*前第2四半期連結累計期間における平均為替レート(連結)は次の通りです。

米ドル : 79.73円      ユーロ : 114.09円

#### 2. 当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日)の主なセグメント別の状況

##### 1) プリンティング・アンド・ソリューションズ事業

売上高 1,593億8千7百万円(前年同期比△3.4%)

##### ●通信・プリンティング機器 1,420億4千万円(前年同期比△3.2%)

米州においては、製品本体・消耗品とも堅調に推移したものの、景気減速の影響を受けた欧州やアジア地域での需要低迷や、為替のマイナス影響などにより、減収となりました。

##### ●電子文具 173億4千7百万円(前年同期比△5.6%)

各地域で堅調に推移したものの、一部製品のセグメント変更の影響及び為替のマイナス影響により、減収となりました。

営業利益 123億9千2百万円(前年同期比△33.6%)

主に為替のマイナス影響により、減益となりました。

##### 2) パーソナル・アンド・ホーム事業

売上高 149億2千6百万円(前年同期比+3.0%)

為替のマイナス影響があるものの、欧米で売上が堅調に推移したことにより、増収となりました。

営業利益 9億8千4百万円(前年同期比△26.7%)

増収とはなかったものの、為替のマイナス影響や、新工場の稼働に伴う費用増加の影響などにより、減益となりました。

##### 3) マシナリー・アンド・ソリューション事業

売上高 378億9千6百万円(前年同期比△2.3%)

##### ●工業用ミシン 83億2千4百万円(前年同期比△30.1%)

景気減速の影響を受け、中国・アジア地域の縫製産業の設備投資需要が低迷したことにより、減収となりました。

##### ●産業機器 295億7千2百万円(前年同期比+9.9%)

IT関連産業向けの需要が堅調に推移し、増収となりました。

営業利益 43億8千1百万円(前年同期比△23.6%)

工業用ミシンの減収の影響により、減益となりました。

##### 4) ネットワーク・アンド・コンテンツ事業

売上高 253億3千万円(前年同期比+13.3%)

通信カラオケ機器の新モデルが好調に推移したことにより、増収となりました。

営業利益 12億1千4百万円(前年同期 営業損失 2億7千1百万円)

通信カラオケ機器の売上増加に伴い、黒字転換しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ112億4千3百万円減少し、3,596億6千2百万円となりました。

負債は、一年内償還予定の社債の減少などにより、前連結会計年度末に比べ122億1千3百万円減少し、1,272億6千7百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が増加したものの、為替換算調整勘定の減少などにより、前連結会計年度末に比べ9億6千9百万円増加し、2,323億9千5百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローでは、前年同四半期連結累計期間より70億8千万円少ない135億6千3百万円の現金及び現金同等物(以下「資金」)が得られました。これは、税金等調整前四半期純利益の減少や、運転資金の減少などがあったためです。投資活動によるキャッシュ・フローでは、前年同四半期連結累計期間より20億9千2百万円多い131億4千3百万円の資金を支出しました。これは、無形固定資産の取得による支出や、関係会社株式の取得による支出などがあったためです。財務活動によるキャッシュ・フローでは、前年同四半期連結累計期間より22億6千7百万円少ない81億3千万円の資金を支出しました。これは、短期借入金の増加があったものの、社債の償還による支出などがあったためです。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は、次の通りです。

1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益は192億9千7百万円で、減価償却費108億4千5百万円など、非資金損益の調整の他、たな卸資産の増加127億1千4百万円、未払費用の減少27億8百万円などによる資金減少があり、法人税等の支払20億4千2百万円などを差し引いた結果、135億6千3百万円の資金の増加となりました。

2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出93億9千9百万円、無形固定資産の取得による支出26億9千9百万円、関係会社株式の取得による支出9億9千6百万円などにより、131億4千3百万円の資金の減少となりました。

3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の増加107億9千2百万円、社債の償還による支出150億円、配当金の支払額32億2千5百万円などにより、81億3千万円の資金の減少となりました。

これらの活動の結果、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は、前連結会計年度末に比べ91億8千8百万円減少し、495億4千3百万円となりました。また、前年同四半期連結会計期間末に比べ101億1千1百万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境を踏まえ、平成24年8月2日に発表した、平成25年3月期の通期連結業績予想を以下のとおり変更いたします。

(単位：億円)

	平成25年3月期 予想 (A)	平成24年3月期 実績 (B)	増減率 (A/B - 1)	平成25年3月期 前回予想 (C)	増減率 (A/C - 1)
売上高	5,100	4,974	2.5%	5,300	△3.8%
営業利益	300	342	△12.2%	340	△11.8%
経常利益	300	344	△12.7%	350	△14.3%
当期純利益	200	195	2.4%	230	△13.0%
為替レート (円)					
米ドル	78.74	79.30	-	80.07	-
ユーロ	100.62	110.17	-	104.01	-

※上記表内の為替レートは、年間の平均レートです。

売上高は、為替の想定レートを変更したことによるマイナス影響に加え、景気の減速を受け、主に通信・プリンティング機器や工業用ミシンの売上見込みを引き下げたことにより、前回予想を下回る見通しです。利益面は、為替の想定レートを変更したことによるマイナス影響や、プリンティング・アンド・ソリューションズ事業とマシナリー・アンド・ソリューション事業の売上見通しを引き下げた影響により、前回予想を下回る見通しです。

なお、平成25年3月期の通期連結業績見通しの前提となる、予想部分の為替レートについて、米ドルについては、1米ドル=80円から、1米ドル=78円へ変更しております。ユーロについては、1ユーロ=105円から、1ユーロ=100円へ変更しております。

[参考データ]

1) 事業セグメント別売上高

(単位：億円)

		平成25年3月期 今回予想 (A)	平成24年3月期 実績 (B)	増減率 (A/B - 1)	平成25年3月期 前回予想 (C)	増減率 (A/C - 1)
プリンティング・ アンド・ ソリューションズ事業	通信・プリン ティング機器	3,048	3,001	1.6%	3,179	△4.1%
	電子文具	371	371	0.0%	384	△3.4%
	計	3,419	3,372	1.4%	3,563	△4.0%
パーソナル・アンド・ホーム事業		330	307	7.5%	326	1.2%
マシナリー・ アンド・ ソリューション事業	工業用ミシン	189	218	△13.1%	243	△22.2%
	産業機器	501	487	2.9%	509	△1.6%
	計	690	704	△2.0%	752	△8.2%
ネットワーク・アンド・コンテンツ事業		509	459	10.8%	511	△0.4%
その他事業		152	131	15.9%	148	2.7%
合計		5,100	4,974	2.5%	5,300	△3.8%

2) 事業セグメント別営業利益

(単位：億円)

	平成25年3月期 今回予想 (A)	平成24年3月期 実績 (B)	増減率 (A/B - 1)	平成25年3月期 前回予想 (C)	増減率 (A/C - 1)
プリンティング・アンド・ ソリューションズ事業	173	220	△21.3%	198	△12.6%
パーソナル・アンド・ ホーム事業	26	26	△0.2%	26	0.0%
マシナリー・アンド・ ソリューション事業	66	83	△20.9%	85	△22.4%
ネットワーク・アンド・ コンテンツ事業	21	△0	-	16	31.3%
その他事業	14	13	9.8%	15	△6.7%
合計	300	342	△12.2%	340	△11.8%

3) 所在地別売上高

(単位：億円)

	平成25年3月期 今回予想 (A)	平成24年3月期 実績 (B)	増減率 (A/B - 1)	平成25年3月期 前回予想 (C)	増減率 (A/C - 1)
日本	1,552	1,477	5.1%	1,593	△2.6%
米州	1,527	1,414	8.0%	1,502	1.7%
欧州	1,243	1,345	△7.6%	1,354	△8.2%
アジア他	778	738	5.5%	851	△8.6%
合計	5,100	4,974	2.5%	5,300	△3.8%

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### ・会計方針の変更

##### （減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。



3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	59,536	51,540
受取手形及び売掛金	65,634	62,904
有価証券	881	212
たな卸資産	76,483	85,141
その他	24,959	22,738
貸倒引当金	△1,448	△1,243
流動資産合計	226,047	221,293
固定資産		
有形固定資産	69,945	69,433
無形固定資産		
のれん	6,398	5,806
その他	13,517	13,769
無形固定資産合計	19,915	19,575
投資その他の資産		
投資有価証券	29,072	26,397
その他	34,797	31,554
貸倒引当金	△8,873	△8,593
投資その他の資産合計	54,997	49,359
固定資産合計	144,858	138,368
資産合計	370,906	359,662
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,978	37,344
短期借入金	4,466	13,779
1年内償還予定の社債	15,000	—
未払法人税等	2,592	4,384
賞与引当金	8,160	7,575
製品保証引当金	4,277	3,352
著作権費用引当金	834	762
資産除去債務	29	0
その他	46,139	39,187
流動負債合計	117,478	106,389
固定負債		
長期借入金	500	700
退職給付引当金	6,980	7,278
資産除去債務	943	964
その他	13,578	11,934
固定負債合計	22,001	20,877
負債合計	139,480	127,267

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,209	19,209
資本剰余金	16,151	16,159
利益剰余金	243,725	255,878
自己株式	△11,672	△11,642
株主資本合計	267,413	279,605
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,176	493
繰延ヘッジ損益	△184	7
為替換算調整勘定	△38,404	△48,094
その他の包括利益累計額合計	△36,412	△47,592
新株予約権	420	378
少数株主持分	3	4
純資産合計	231,425	232,395
負債純資産合計	370,906	359,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	246,562	244,525
売上原価	135,123	138,901
売上総利益	111,438	105,623
販売費及び一般管理費	85,423	85,996
営業利益	26,015	19,626
営業外収益		
受取利息	409	403
受取配当金	186	195
持分法による投資利益	241	96
デリバティブ評価益	1,472	609
その他	340	359
営業外収益合計	2,651	1,664
営業外費用		
支払利息	329	202
売上割引	989	915
為替差損	509	46
その他	170	87
営業外費用合計	1,999	1,251
経常利益	26,666	20,040
特別利益		
固定資産売却益	315	57
投資有価証券売却益	23	0
受取補償金	596	—
その他	269	27
特別利益合計	1,205	85
特別損失		
固定資産売却損	31	12
固定資産除却損	361	186
減損損失	67	91
投資有価証券売却損	17	0
投資有価証券評価損	64	164
子会社清算損	—	125
その他	118	248
特別損失合計	660	828
税金等調整前四半期純利益	27,210	19,297
法人税等	13,654	4,456
少数株主損益調整前四半期純利益	13,556	14,840
少数株主利益	0	0
四半期純利益	13,555	14,840

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,556	14,840
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△925	△1,654
繰延ヘッジ損益	472	192
為替換算調整勘定	△13,424	△9,827
持分法適用会社に対する持分相当額	△71	△28
その他の包括利益合計	△13,949	△11,318
四半期包括利益	△392	3,522
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△393	3,522
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	27,210	19,297
減価償却費	10,627	10,845
減損損失	67	91
のれん償却額	853	773
貸倒引当金の増減額(△は減少)	392	157
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△408	301
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△647	△465
受取利息及び受取配当金	△596	△598
支払利息	329	202
為替差損益(△は益)	1,301	329
持分法による投資損益(△は益)	△241	△96
デリバティブ評価損益(△は益)	△1,472	△609
固定資産除売却損益(△は益)	78	141
投資有価証券売却損益(△は益)	△6	△0
投資有価証券評価損益(△は益)	64	164
受取補償金	△596	—
子会社清算損	—	125
売上債権の増減額(△は増加)	139	△419
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,476	△12,714
仕入債務の増減額(△は減少)	4,187	962
未払費用の増減額(△は減少)	△502	△2,708
その他	141	△723
小計	29,447	15,055
利息及び配当金の受取額	786	695
利息の支払額	△328	△243
補償金の受取額	—	96
法人税等の支払額	△9,261	△2,042
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,643	13,563
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△9,908	△9,399
有形固定資産の売却による収入	641	682
無形固定資産の取得による支出	△1,771	△2,699
無形固定資産の売却による収入	3	—
投資有価証券の取得による支出	△31	△285
投資有価証券の売却による収入	256	0
関係会社株式の取得による支出	△345	△996
子会社の清算による収入	380	—
関係会社出資金の払込による支出	△2,081	—
長期貸付金の回収による収入	6	13
その他	1,800	△458
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,050	△13,143

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,500	10,792
長期借入れによる収入	250	200
リース債務の返済による支出	△1,921	△905
社債の償還による支出	—	△15,000
自己株式の純増減額 (△は増加)	△1	7
配当金の支払額	△3,224	△3,225
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,397	△8,130
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,436	△2,688
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,240	△10,398
現金及び現金同等物の期首残高	65,100	58,731
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	794	1,209
現金及び現金同等物の四半期末残高	59,654	49,543

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	プリンティング・アンド・ソリューションズ	パーソナル・アンド・ホーム	マシナリー・アンド・ソリューション	ネットワーク・アンド・コンテンツ	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高								
外部顧客への売上高	165,031	14,496	38,807	22,352	5,873	246,562	—	246,562
セグメント間の内部 売上又は振替高	—	—	—	—	4,021	4,021	△4,021	—
計	165,031	14,496	38,807	22,352	9,895	250,583	△4,021	246,562
セグメント利益又は損失 (△)	18,661	1,343	5,735	△271	546	26,015	—	26,015

(注) 1. その他には不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント間の内部売上又は振替高の調整額△4,021百万円はセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	プリンティング・アンド・ソリューションズ	パーソナル・アンド・ホーム	マシナリー・アンド・ソリューション	ネットワーク・アンド・コンテンツ	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
売上高								
外部顧客への売上高	159,387	14,926	37,896	25,330	6,983	244,525	—	244,525
セグメント間の内部 売上又は振替高	—	—	—	—	4,734	4,734	△4,734	—
計	159,387	14,926	37,896	25,330	11,717	249,259	△4,734	244,525
セグメント利益	12,392	984	4,381	1,214	676	19,649	△23	19,626

(注) 1. その他には不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント間の内部売上又は振替高の調整額△4,734百万円はセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益の調整額△23百万円はセグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。